

P&Aいしかり 活動広報 第28号

2022年 8月 6日

どんな障がいがあっても、安心して地域で暮らしていけるようにしたい！
障がいのある人への良き理解者を増やし、広げたい！

P&Aいしかり事務局 <http://p-a-ishikari.jimdo.com/>
石狩市障がい者支援センター(石狩市樽川519-2)
TEL 0133-73-8868 FAX 0133-73-8869
発行責任者 佐々木公子



石狩市民生委員児童委員連合協議会障がい 福祉部会の皆様との懇談が開催！！

7月6日13時30分より花川南コミュニティセンターにて、民生委員・児童委員連絡協議会障がい福祉部会の皆さんとP&Aいしかり世話人との懇談が行われました。

民生委員の方の司会で、会が始まりました。冒頭、世話人の自己紹介を終えて、金子世話人より「P&Aいしかりの啓発活動について」資料を見ながらお話ししました。資料には、P&Aいしかりの発足のきっかけ、コンビニ訪問・病院・消防署・警察署などへの訪問・依頼活動、共に考える集いや学習会の開催、自主映画上映会の取り組み、広報活動、運営などについてまとめてあり、平成22年(2010年)の準備会発足から平成24年(2012)の会の発足、そして現在までの歩みが理解していただけるようになっていました。

角田世話人からは、あらゆる(障がい福祉サービス事業生活介護事業所)の利用者の方たちの町内会の冬の除雪活動等を通して地域の人たちとの交流の紹介がありました。

司会の方から民生委員を長くやっている中で、周りで発達障がい児童の方について度々耳にすることがある。その方の姪も発達障がいがあるとのこと。独りが大好きで、コミュニケーションを苦手にしており、いじめにあっていたとお話がありました。

佐々木世話人代表や世話人の堤さん・石尾さんからは、それぞれお子さんの幼いころの様子、療育手帳を障がいのあることを受け止められないときに交付されたこと、石狩市のグループホームで自立生活をしていること、親亡き後の生活において地域の理解・協力をお願いしたいことなどをお話ししました。

その後、事例として民生委員の方から不審者に間違われそうな人の情報があり、民生委員同士相談して、関係する事業所責任者に連絡し、その後、事業所の方で警察や学校と対応し、誤解がとけて解決した事例で、民生委員さんとの協力の中で解決できたというお話がありました。

また、民生委員の方の中に、グループホームの世話人をされている方もあり、利用者の方との関わり、仕事の様子、町内会との交流などのお話がありました。グループホームの食事を終えて、後片付けの際「ごちそうさま」「ありがとう」の関わりをしている、「名前の交換をし、顔を見たら声をかけてくるようになった」「夏祭りのときは売店に立ってもらったり、町内のごみ拾いを一緒にしている」などについてお話されていました。

救急救命士をされていたという民生委員の方からも、これから今までの経験を生かしていきたいと抱負を聞かせていただきました。

民生委員障がい福祉部会の安保部長からは、困ったとき連絡するところを把握して、地域活動に生かしていこうとお話されていました。

民生委員とP&Aいしかりの懇談を通して、石狩の地域を支え頼りにされるネットワークが創られ、「障がいがあっても街の中で普通の暮らし」を願う地域の取り組みが深まる感じを強くしました。

世話人 遠藤 健治



障がいのある子を育ててきた 私たちからのメッセージ冊子が完成！！

これまで地域の中で障がいのある子を育ててきた親の皆さんは、この街で暮らす中でいろいろな経験をしてきたことと思います。

P&Aいしかりでは、地域との関りで「地域の皆さんに伝えたいこと」などをキーワードとして、それぞれの親の皆さんの声を集めて冊子にしようということで、2年半前から検討し、取り組んできました。ようやくこれまで寄せられたメッセージを冊子にまとめることができました。

冊子の中では、それぞれの皆さんの子育てでの悩みや向き合ってきたこと、そして、地域の皆さんとの関りやエピソードをはじめ、地域の皆さんに知っていただきたい親の想いや地域の皆さんへの感謝などが語られています。また、「アート紹介」としてご本人の作品も掲載させていただきました。一つ一つの作品が個性的で素敵な作品です。

さらに冊子の中では、メッセージの合い間のページには、P&Aいしかりについて紹介させていただきました。

完成した冊子はコンビニ・スーパーへの依頼活動での活用や民生委員児童委員協議会の皆さんをはじめとして、より多くの皆さんに見ていただければと思います。

世話人 金子 浩治



全国トラブルシューター（TS）ネット 本人と共にTSを考える部会 第1回ミニセミナー 「本人活動・当事者活動とは」

全国トラブルシューター(TS)ネット
本人と共にTSを考える部会
第1回ミニセミナー

～本人活動・当事者活動とは～

日時:2022年6月28日(火)
19:00~21:00

講師:光増昌久氏
旧障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会代表
旧社会福祉法人札幌緑社会 札幌グループ 総合施設長
札幌みんなの会 支援者

参加費無料

ミニセミナーについて

オンライン(ZOOM)開催

申し込み方法
QRコードから
Zoomのダウンロード
申し込み下さい。

事務局へのお問い合わせは、下記へお願い致します。
kaneko@hanunre.or.jp 札幌TS会事務局

全国TSネット共同代表
竹田一光(新潟TS)、瀬江まゆみ(東京おららのTS)
【事務局】白樺学園大学江別校区
〒187-8573 東京都小平市小川町1-8-30
info@zenkoku-ts@shiraume.ac.jp
<https://zenkoku-ts-network.jp/>

2022年6月28日19:00～全国トラブルシューター（TS）ネット本人と共にTSを考える部会の第1回ミニセミナーが「本人活動・当事者活動とは」をテーマにZoom開催されました。

講師に光増昌久氏（札幌みんなの会支援者・障がいのある人と支援者でつくる日本グループホーム学会運営委員）を迎え、「本人活動って何？」ということで、本人による、本人のための、グループ活動であり、本人活動は必然的に権利擁護活動（セルフアドボカシー活動）に発展していくとの前段の説明の後に、本人活動の歴史を詳しく話されました。

世界各地（スウェーデン、デンマーク、カナダ、アメリカでも）で本人活動の芽生えがあり、ピープルファースト運動では、1974年にアメリカのオレゴン州の入所施設の人たちが会合で、自分たちの会の名称を決める時に参加者の一人が発言し、「私たちは障害者である前に一人の人間である」この言葉からピープルファースト（PF）と呼ばれる運動が

誕生した。そして、北米から世界各国に運動は広がっていった。

1993年カナダトロントで開かれたピープルファーストの国際会議に日本からも参加し、参加したメンバーの中で、日本にもピープルファーストをつくろうと全国交流集会、全国大会が開かれるようになる。日本にもアメリカのピープルファースト運動のリーダーを招待し、交流を深めてきた。

本人活動グループはどんなグループがあるのかという説明では、

- ・ 育成会（親の会）が作ったグループ
- ・ 作業所の利用者が作ったグループ
- ・ 施設利用者が作ったグループ
- ・ 地域生活者が作ったグループ
- ・ 通勤寮のOB組織して作ったグループ
- ・ 養護学校の卒業生で組織するグループ
- ・ 市民運動で作ったグループ
- ・ ピープルファーストのグループ
- ・ その他



といろいろあり、その中で北海道の3つの取り組みとして、「育成会全道大会本人大会」「このゆびとまれ（本人の会全道交流会→みんなのわ）」「人権セミナー」があり、それぞれの実行委員会の代表は本人であり、本人達が企画運営していること。

入所施設での権利侵害の実態が公表される中で、知的障害者の権利侵害をなくすために「知的障害者人権セミナー」が1992年に始まった。2004年障害の垣根を取り払って運動していくために「知的障害者人権セミナー」から「人権セミナー」に名称変更した。そして、この活動を通して、「当事者が力をつけてきた。」「参加者の意識も変わった。」「多くの支援者の意識が変わってきた」「行政も障害当事者（特に知的障害者）への理解が増してくる。」「本人の会の広がりにも貢献してきた。」などみんなが変わっていったことが話された。この他、150枚のスライドを通して、詳しく中々聞くことのできない貴重なお話を聞くことができました。

世話人 金子 浩治

共生社会を創る愛の基金第11回シンポジウム開催 「罪の問われた障がい者」の支援を新たなステップへ

7月30日共生社会を創る愛の基金 第11回シンポジウムが開催されました。内容は以下のチラシの通りで、3部構成となっています。それぞれこの10年を振り返って、今後に向けて、多くの示唆する密度の高い内容で、共感と感動を受けたお話もあり、また、最後に予定には載っていなかったスペシャルゲストのお話もあり感銘深いものがありました。

このシンポジウムは以下のyoutubeで8月末まで公開されますので、是非ご覧下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=VYYPJdKKmHw&t=1764s>

共生社会を創る愛の基金 第11回シンポジウム

「罪に問われた障がい者」の

支援を新たなステップへ

—ともに地域で暮らし続けるために—

7.30 (土)

10:00~17:00

YouTube配信

10:00 開会あいさつ

第1部 10:05 行政報告 法務省・厚生労働省・農林水産省 より

参加
無料

事前申込不要

第2部 11:35 福祉と司法、医療の“この10年”

11:35~ 「福祉の10年」

× 原田 正樹 さん (日本福祉大学教授)

13:35~ 「司法の10年」

× 林 真琴さん (前検事総長) 荒 中さん (前日本弁護士連合会会長)

15:05~ 「医療の10年」

× 内山 登紀夫さん (福島学院大学教授)

コーディネーター
村木厚子さん

第3部 15:45 基金と仲間の“この10年”

●全国トラブルシューターネットワーク

堀江 まゆみさん (白梅学院大学教授) × 竹田 一光さん (新潟TS) × 山田 恵太さん (東京TS)

●地域生活定着支援センター

伊豆丸 剛史さん (厚生労働省 福祉政策課 地域生活定着支援センター所長) × 松本 一美さん (茨城県 地域生活定着支援センター所長) × 酒井 龍彦さん (埼玉県 地域生活定着支援センター所長)

●基金の10年とこれから

野澤 和弘さん (植草学園大学 副学長) × 村木 太郎さん (共生社会を創る愛の基金顧問)

(配信) YouTube 「南高愛隣会チャンネル」
にてご覧ください。

<https://www.youtube.com/channel/UCpOY2lkZ0Rkzk4QZ4YUGBA>

QRコードはこちら



※文字配信あり (UDトーク
アプリまたは当日コメント欄の
リンクからブラウザでご覧いた
だけます) アプリはこちら



主催「共生社会を創る愛の基金」

「共生社会を創る愛の基金」シンポジウム事務局 (社会福祉法人 南高愛隣会内)
〒854-0001 長崎県諫早市福田町357番地15 (担当: 南口・本田)
TEL 080-9061-7205 (担当者直通) / E-mail: ainokikin@airinkai.or.jp

世話人 金子 浩治

